

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	ガーデンコート矢切
(ユニット名)	ユニット②
所在地 (県・市町村名)	千葉県松戸市下矢切99-10
記入者名 (管理者)	斉藤 恵子
記入日	平成20年2月1日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「お客様に気持ちよく、安心して安全な生活を送っていただけるようなホームを目指す。」をモットーにしております。	「気持ちよく」「安全」「安心」を提供する心掛けを継続していきたく思います。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	ホームの各フロア、ロッカールーム、休憩室に理念を掲げていつでも見れるようにしています。	日々の申送りやスタッフミーティング等で情報共有をして、理念に沿ったサービスを提供する事を続けていきたく思います。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	運営推進会議において、ご家族や地域の方に理念や活動状況等を理解していただけるように努めております。又、地元高校福祉科の生徒をアルバイトとして雇用し、地域への浸透に取り組んでおります。	○ 更に地域に根ざしていけるように、地域への行事参加や施設内行事への参加呼びかけ等に取り組んでいきたく考えております。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	ご利用者との散歩や買物先でのあいさつは必ずするように心掛けております。	外出機会を多く持ち、ご近所と「顔見知り」の関係を築いていけるよう、心掛けていきたく思います。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	敬老に日に近所の幼稚園の園児さんが来訪し、毎年継続して行く事になりました。地域行事への参加や、老人会との交流を視野に入れておりますが、実現できておりません。	○ 地域行事への参加、老人会との交流が具体化できるように進めていきたいと思っております。又、ボランティアの受入れも力を入れて取り組んでいければと考えております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	外から見て目立つ場所に「介護相談承ります。」というポスターを貼っており、時々相談等承っております。	○	取り組み内容などをミーティングの議題にして、検討していきたいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価結果をミーティングや運営推進会議にて議題に取り入れて、改善に取り組んでおります。	○	更に改善できるように取り組んでいきたいと思います。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議において、施設として取り組んでいる事・問題点を議題に取り入れてサービス向上に活かしております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センター様、地区在宅介護支援センター様と連携をとり、サービス向上に努めております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者研修において学んだ機会しかありません。ご対象となる方がまだいらっしゃらないので、支援は実施しておりません。	○	今後、ご対象となる方がいらっしゃる可能性が考えられるので、再度、制度を学ぶ機会を持ちたいと考えております。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	松戸市から発行された「虐待防止マニュアル」を基にミーティングや研修等で理解を深め、防止に努めております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、契約書及び重要事項説明書を、管理者と地域統括責任者により説明を行なっております。ご家族等にご理解、ご納得いただけるまで、時間をかけて説明させていただいております。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者・職員が直接お伺いする事がほとんどです。「ご意見箱」を設置していますが、ご利用者からの投書はありません。ご利用者が外部に向けて意見等を発信する事は考えにくいため、運営上取り入れておりません。	ご利用者からの意見等はご家族等を通じて、管理者・職員がお伺いし、運営に反映させていけるようにしていきたいと思っております。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1～2度の頻度で、計画作成担当者よりご家族等へご利用者状況を、電話にてご報告させていただいております。又、行事の後には写真を貼ったお便りを作成して、ご家族へ送付しております。	○ 行事の後に発行しているお便りを、定期発行化して、ご利用者の日常等をご報告していきたいと思っております。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者・職員が直接お伺いしております。「ご意見箱」を設置して、投書していただけるようにご説明しております。外部へは重要事項説明書に「市役所介護給付担当室」の連絡先を明記しております。	○ 更にご意見等を表しやすい環境作りを心掛けていきたいと思っております。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝、夕の申し送り、ミーティング時に意見や提案を聞いております。又、気付いたことがあれば、その都度意見交換を行なっております。	継続して取り組んでいきたいと思っております
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日勤を3交替にして、ご利用者の生活時間に柔軟に対応できるよう努めております。	継続して取り組んでいきたいと思っております
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動等があった場合には、ご利用者・ご家族等に誠意を持って事情を説明しております。又、離職を必要最小限におさえられるように3ヶ月に1度の割合で、地域統括責任者、管理者、計画作成担当者による個人面談を行なっております。	○ ご利用者にとって馴染みの職員が支援できるよう、継続して取り組んでいきたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	社内では「年間研修計画」を作成し、実施しております。社外の研修は情報が入り次第、職員に案内を流しております。	○	認知症に対する理解を、更に深めていける研修を充実させていきたいと考えております。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム連絡会を通して交流をしております。相互訪問等はしておりませんが、社内他拠点との相互訪問を取り入れ、サービス向上に取り組んでおります。	○	同業他社との勉強会等の機会を設けていきたいと考えております。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	職員親睦会等の際には、厚生費として補助金が出るようになっております。又、運営者が現場視察する機会を定期的に設け、環境作りに取り組んでおります。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	体力面や生活環境、仕事での得意・不得意などを考慮し「やる気」を持てる業務を中心にシフトするように心掛けております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	できる限り本人と話しをして、信頼関係を築くように心掛けております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	まず、ご家族等が相談にいらっしゃるケースが多いので、じっくりと時間をかけてお聞きするように努めております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	問合せ～本人面談までにニーズを把握するように努めております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ニーズに即した対応をしております。「体験入居」や計画作成担当者による本人面談を重ねて、徐々に馴染めるように配慮しております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	地域に関することや、ご利用者の経験談など職員が学ぶことは多々あります。「歌」「体操」「散歩」等にご利用者との時間を共有して、一緒に楽しむ時間を設けております。	○	日常において、更に共有できる時間を模索していきたいと思います。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	No14に記載した内容の他、行事開催時には必ずご家族への参加を呼びかけております。又、行事以外の日常でも来訪をお願いしております。		No14にもあります通り、定期的なお便りの発行を目標にしていきたいと思います。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	管理者・職員は常にご利用者とご家族の中間に立ち、どちらかの味方にもならず、中立の立場をとるように対応しております。	○	ご利用者、ご家族、スタッフの3者が良好な関係を保つよう支援に取り組んでいきたいと思います。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの物を持ってきていただいたり、親戚やご友人に来ていただいたりしております。ご家族等にもお願いしております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う方々と一緒に散歩にお連れしたり、共同での作業を提案することを心掛けております。但し、強制することは絶対にしないようにしております。		継続して取り組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も定期的に連絡をさせていただき、おつきあいを継続するように努めております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者、ご家族等の意向を第一に援助計画を立てております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	始めの段階で、計画作成担当者がモニタリングの後、書面作成して、それを現場に流す事で職員全員が把握できるように努めております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員によるご利用者の様子観察を計画作成担当者が報告を受けて把握するように努めております。状況に応じて、計画作成担当者が直接様子観察しております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	申送り時の意見やアイデアを計画作成担当者より、ご利用者やご家族等に提案したり、ご家族等からのご要望などを援助計画に反映して計画作成をしております。	○	今後もご利用者・ご家族等・職員との連携を大切にして、より良い計画作成につなげていきたいと考えております。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて計画作成担当者が見直しを行ない、現場に伝達しております。	○	現場側からも、常に計画作成担当者へ状況を報告し、現状に即した援助計画作成に反映したいと考えております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者の個人日誌に日々記録として残し、送り時に情報共有しております。計画作成担当者も送りに参加して、援助計画の見直しに反映させております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	できる限りの要望に対して対応しております。ご家族等には、常日頃からご要望を連絡していただけるように促しております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	包括支援センター様、民生委員様の利用に対するご紹介などを頂いております。警察、消防、文化・教育機関とは連携できておりません。	○	今後、地域のボランティアさんを積極的に受け入れていきたいと考えております。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	包括支援センター様、市役所様、ケアマネージャー様の方々への相談なども行なっております。他サービスの紹介、相談は随時行っており、ご意向など踏まえて対応しております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加していただき、連携をはかっております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	管理者・計画作成担当者が医療機関との窓口になっております。ご利用者、ご家族等が希望された病院にかかれるよう配慮しております。		継続して取り組んでいきたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医の週1回の往診時に、日常の様子をお伝えして、診察していただいております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	健康管理面や医療面など、日常でのチェックを支援していきます。(病気についてや日常生活での相談など)	○	左記事項をもっとスキルアップして行く為にも、市の保健師様など外部の医療関係者とも連携を図っていきたいと考えます。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	各病院のソーシャルワーカー(市内及び近隣の病院)との関係を密接にとっています。その際ご利用者の状況など伝達していくことにより、早期退院の可能性も高まっています。		継続して取り組んでいきたいと思います。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まだ、対象となる例がありません。	○	対象となる方が出た場合、連携を図りつつ関係者全員で方針を共有できる環境を整えたいと考えております。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	まだ例が無い為、特に話し合い等行なえておりません。	○	検討、準備を前向きに考えていきたいです。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他施設へ転居されるご利用者の情報は、必ず提供して、ダメージの軽減に努めております。		継続して取り組んでいきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけの基本として「相手を尊重する」話しかけを心掛けております。尚、対応についても大柄な態度をしないよう、皆で気を付けております。記録等1箇所を集めて保管しております。	○ 継続して取り組んでいきたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人の思い、希望をまず尊重します。但し、無理な事柄などを希望された場合、納得のいくまで説明をしていくように心掛けております。	○ 継続して取り組んでいきたいと思います。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り支援しております。但し、無理な場合は誠意を持って接しております。	○ あくまでもご本人のペースを尊重して支援すること。ご自分で決めている方も多くいらっしゃるので、尊重して接しております。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご自分で理容店など行けない方の為に、訪問理容を利用して頂いております。	○ その他身だしなみ用品などを揃えていきたいと考えております。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食事を楽しみ、一緒に食事準備、お皿洗いやお皿拭きなど、皆で取り組んでいます。	○ 今後も継続して取り組んでいき、一人でも多く参加できるよう支援していきたいと考えております。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好きな食べ物や飲み物など、ご本人の気分でお持ち頂いたりして、皆で楽しんでいることが時々あります。	○ 今後も継続して、お客様に楽しんで頂きたいと考えます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間をみながら、トイレへの誘導を行なっています。排泄のパターンは個人日誌等に記帳し把握をしています。	○	今後も継続し排泄パターンの把握を行ない、お客様に気持ちの良い排泄をケアしていきます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週間スケジュールは作成してありますが、ご本人の入浴の希望をまず聞きます。そして体調に合わせて入浴の長さや時間帯等も出来る限り、ご本人の希望に添えるようケアしています。	○	ご本人の希望を第一に且つ体調面等をチェックし、支援するよう心掛けております。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の休息パターンを把握し、昼寝をされる方には誘導も行なっています。又、安心して寝て下さるよう環境整備(安眠の為の)にも力を入れています。	○	継続して取り組んでいきたいと思っております。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来る限り自由に過ごせる環境を提供しております。役割分担など(お皿を洗っていただいたり)業務の手伝いなども行なってもらっております。又、体操を行ったりして体力づくりなども支援の一つに盛り込んでおります。	○	今後も生活歴や趣味などもよくモニターして、本人様にあった過ごし方を把握し、提供していければ、と考えております。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理ができる方には、小額の現金をご自分で管理していただき、買物を支援しております。管理の難しいご利用者にはこちらで現金を管理しております。	○	買物支援の対象者を増やしていけるよう、検討していきたいとおもいます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	朝の申し送り時に散歩の予定などを立てて、お客様のご要望を聞き、外出する機会を増やして行きたいと考えております。	○	今後は「散歩コース」「庭の手入れ」など計画を立てて、目的を持った戸外への支援を考えていきたいと思っております。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族等と連携・協力し、外出を支援しております。	○	継続して取り組んでいきたいと思っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望されるご利用者には、ご本人自ら電話をしていただいております。手紙も自由にやりとりしていただいております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	馴染みの方々には、いつでも気軽にいらしていただけるように案内しており、実際に様々な方の訪問を受けております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は基本的に行なってはいけない行為だという事を、職員全体に啓蒙しております。、又、職員も理解をして気を付けて対応(ケア)方法を検討したり、実践したりしております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	カギをかけないケアを目指しておりますが、徘徊される方の安全確保のために施錠する場合があります。	○	出来る限り施錠はしないケア方法の検討を模索しているのが現状です。安全に徘徊、もしくは行動できるように町会等のご近所と連携し、見守りできる風土を築いている最中です。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	医療的な観察等が必要な場合を除き、プライバシーを重視し、さりげなく所在や様子を観察・把握するように心掛けております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管には充分注意をしておりますが、ご利用者各々の状態に応じて、洗剤、はさみ、包丁等は見守りにて使用していただいております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	現場にマニュアルを設置し、常に対応できるようスタッフも日頃目を通しておくように心掛けております。且つチェック機能も徹底して行なっております。	○	今後も日頃の見守り・巡視強化「チェック」も管理者等が確実に行なうよう、ガーデンコート内全体で意識徹底していきたいと考えております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	訓練など、ミーティング等では行なっておりますが、応急手当など今後研修計画に入れて、松戸市消防局に依頼していく予定です。(非難訓練、応急対応の指導)	○	左記事項を実現していく方向で考えております。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	最寄りの交番、駅にも協力要請しております。消防局に依頼し、NO.70同様実施訓練を行なう予定です。	○	左記事項を実現していく方向で考えております。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族とは頻繁に連絡をとり、現状起きている事、予測されるリスクなどもご家族とも検討できる関係を持ち続けております。		継続して取り組んでいきたいと思っております。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	異変が見られた時は、すぐにご家族や主治医に連絡をとり対応しております。	○	日々の現場での観察力を持ち、見守りを重視して変化にすぐ気付くよう指導していくことを重点としていきます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は施設にて慎重に管理しております。症状の変化、服薬変更等あった時は、職員同士申し送りで確認し、ご家族には電話やお会いした時に報告しています。	○	今後も誤薬などに細心の注意を払い、薬管理を行なうよう、毎日職員に徹底・啓蒙していきます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給は1日に1000cc摂取を目安としております。また、散歩、体操なども日常に取り入れ、野菜、果物、海藻などの食物繊維の積極的な摂取を心掛けております。	○	継続して取り組んでいきたいと思っております。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後は必ず声掛けをして、口腔ケアを行なって頂いております。訪問歯科医より、とても清潔な状態にあると、お褒めの言葉もいただきました。		継続して取り組んでいきたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量はその都度チェックし、記録に残しております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ホームに入室する方全員と、お客様には必ず手洗いうがいを行なって頂くことを約束しております。フロア内の消毒も毎日行なっております。	○	社内にも感染症委員会が設置しており、社内全体で予防策を推進しております。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、包丁は毎日消毒し、台所周りも毎日夕方に掃除しております。また、夜間に食品の賞味期限のチェックを行ない期限切れのものは処分しています。		継続して取り組んでいきたいと思います。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関から門のまわりに花を飾ったり、玄関内にポスターを貼り、雰囲気作りをしております。	○	今後も玄関まわりに気を配り、お客様のご要望も踏まえ、花を植えたり、和める物を飾ったりしていきたいと考えております。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには、季節感を大切に飾り付けをするように心掛けております。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方同士は、リビングのソファやテーブルを囲んだり、エントランス等で過ごされていらっしゃいます。独りを求めるご利用者は、居室にて過ごされていらっしゃいます。	○	更にご利用者がくつろげるスペース作りに取り組んでいきたいと考えております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、なるべく本人の使い慣れた物をお持ちいただくよう、ご利用者・ご家族等をお願いしております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝・夕申送り時に室温チェックを行なっています。また換気にも充分配慮し、季節感、や時間を感じられるように温度設定等を行なっています。		継続して取り組んでいきたいと思います。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には手すりを設置しております。また、完全バリアフリーになっております。窓には防災加工を施したカーテンも設置しており、安全面には問題ないと考えております。	○	今後物品の配置等、お客様一人一人がご自分で「活動できる」「活動しやすい」レイアウトを研究していきたいと考えております。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人が「出来ること」をそれぞれ行なって頂けるように支援していきます。掃除や片付けなどもその一つとして考え、お客様が活躍できる場所と状況を提供していきたいと考えております。		継続して取り組んでいきたいと思います。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花の手入れ、玄関外の掃除、草むしりなどを行なっています。	○	継続して取り組んでいきたいと思います。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
		○	③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
		○	②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
		○	③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・我々ガーデンコート矢切では「安心」してお客様が「気持ちよく」過ごして頂けるよう、皆で接することを一番に考えております。来訪された方々にも「気持ちよく」帰って頂けるよう「笑顔」と「あいさつ」はしっかり行なうよう心掛けております。
- ・お客様の健康維持のために、外部から来られる方々、ご面会の方々に対して「手洗い」「うがい」を実施していただくようスタッフよりお願いして、予防運動に取り組んでおります。
- ・お客様の口腔衛生を維持するために、1日3回食後の口腔ケアを徹底しており、訪問歯科の医師よりとてもよい評価を頂戴しております。